

序

上北鉱山は、昭和 15 年に日本鉱業が本格的に採掘を開始してから 33 年後の昭和 48 年に操業を止めました。鉱量が枯渇したためです。最盛期には 4,000 もの人々が生活していたといわれています。

私ども上北鉱山ゆかりのメンバーが初めて一堂に会したのは、平成 19 年 3 月でした。以来 22、24、25、26 年と回を重ね、この 5 月には 6 回目の集まりを持ちました。去年からメンバーの裾野を広げましたので、第二世代が参加するようになって高齢化に少しブレーキがかかったように思えます。

人であれ物であれ、質量のあるものはいずれ消えていきます。まして有限の地下資源ですから、掘ればなくなるのが道理です。

しかし、同じ場所と時間を共有した思い出は消えません。ヤマの仲間の語り部が消えてしまわないうちに、それぞれの上北鉱山を語って貰い、纏めたのがこの“思い出”の一杯詰まった文集です。

昔を懐かしむだけでなく、次世代に語り繋いでゆく絆となれば幸いです。

白根澤 亘

「上北鉱山の思い出」文集編集委員会代表